

**ジョリパット不燃
JQ-200シリーズ
スムーズフレーク仕上げ
施工の手引き**

【初版】平成30年 6月

【改訂】令和4年 1月

**アイカ工業株式会社
化成品カンパニー**

<使用材料>

材料	品番	概要	荷姿	製品塗布量 kg/m ²	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-500	1 液水系アクリル	18kg/缶	0.035	約 514 m ²
	ジョリパットシーラー JS-90	1 液水系アクリル	10kg/缶	0.07	約 142 m ²
	セーフシーラー JS-800	1 液水系がオンシーラー	16kg/缶	0.07	約 228 m ²
主材① ジョリパット不燃 下塗り	【塗材】 ジョリパット不燃 JQ-200 シリーズ 標準色 JQ-200T□□□□ (□…数字) 特注色 JQ-200△○○○ (△…英字、○…数字)	水系アクリル仕上塗材	20kg/缶	1.43	約 28 m ² /セット
	【骨材】 JF-3	寒水石 3 厘	20kg/袋		
主材② ジョリパット不燃 上塗り	【塗材】 ジョリパット不燃 JQ-200 シリーズ 標準色 JQ-200T□□□□ (□…数字) 特注色 JQ-200△○○○ (△…英字、○…数字)	水系アクリル仕上塗材	20kg/缶	1.4	約 29 m ² /セット※
	【骨材】 JF-1	寒水石 1 厘	20kg/袋		
	【骨材】 JF-74	合成マカ	5kg/袋		

※JF-74 は 1 袋当たり 5kg の荷姿ですが、上塗り時はジョリパット不燃 JQ-200 20kg, JF-1 20kg に対し、JF-74 を 1kg 小分けして使用します。標準施工面積はジョリパット不燃 JQ-200 20kg, JF-1 20kg, JF-74 を 1kg を混合した場合の目安です。

<主な施工道具>

- ・ステンレスゴテ(角ゴテ)
- ・仕上げゴテ (ステンレス製の腰の柔らかいもの)
- ・JR-75 (スポンジローラー) ×2 本

<下地調整>

石膏ボード(プラスターボード)またはモルタル

<不燃認定について>

スムーズフレーク仕上げは下記商品名で不燃認定を取得しています。施工の手引きに準拠し、施工してください。

商品名：ジョリパット不燃 JQ-200 【セットB】

<スムーズフレーク仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	18ℓ
塗 布 量	0.07kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1' JS-90 の場合

配 合	JS-90	10kg
塗 布 量	0.07kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1" JS-800 の場合

配 合	JS-800	16kg
塗 布 量	0.07kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

※下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。
3時間以上48時間以内

2. 【ジョリパット不燃 JQ-200 下塗り】

配 合	JQ-200シーズ	20kg
	JF-3	20kg
	清 水	2~2.5ℓ
塗 布 量	1.5kg/m ²	
施工道具	ステンレスゴテ ステンレスゴテで平滑に塗布してください。	

追いかけて（5分以内）

・仕上げゴテを円状に動かし、表面が平滑になるよう押さえてください。（図-1）

夏期8時間以上
冬期12時間以上
完全に乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 【ジョリパット不燃 JQ-200 上塗り】

配 合	JQ-200シリーズ	20kg
	JF-1	20kg
	JF-74	1kg
	清 水	約3~3.5ℓ
塗 布 量	1.5kg/m ²	
施工道具	ステンレスゴテ ステンレスコテにて平滑に塗布する。	

追いかけ（5分以内）

・仕上げゴテを円状に動かし、表面が平滑になるよう押さえてください。（図-1）

追いかけ（5分以内）

4. 洗い出し

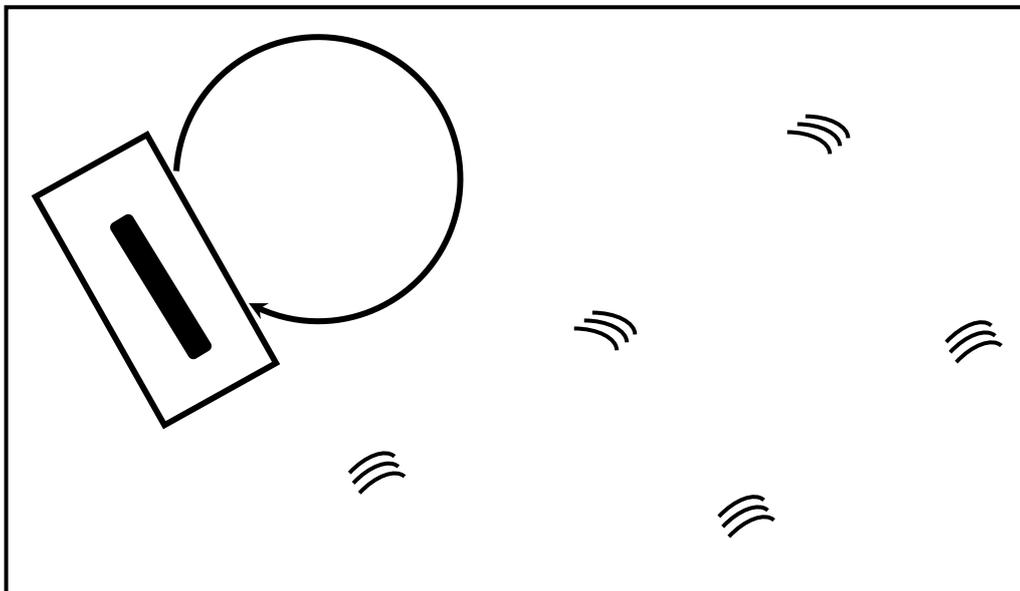
・霧吹き（もしくは噴霧器など）で水を全面に塗布してください。水がダレない程度に噴霧するよう注意してください。

追いかけ（5分以内）

・よく絞ったスポンジローラー（JR-75）で表面全体を軽く押さえ、余分な水を取る。ローラーは十字に動かす。

<施工のポイント>

- ・塗材の表面を仕上げゴテでコテ波を消しながら平滑に押さえてください（図－１）。
塗布量が多い場合、コテ波が出やすくなります。



図－１（仕上工程）

<施工の注意事項>

- ・塗膜が薄く下地の不陸を拾いやすい仕上げのため、下地が平滑であることを確認してから施工して下さい。（特にモルタル下地や、ボードの継目では下地に不陸が出やすいため、下地を平滑に処理した後、施工して下さい。）
- ・入隅は塗布量が多くなるよう注意して下さい。塗布量が多い場合、クラックが発生しやすくなります。
- ・仕上げゴテは常にきれいに保ち、塗材が付着した場合はウエス等で拭き取ってください。（仕上げゴテが汚れているとフラットに押さえられません。）
- ・施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
- ・塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
- ・シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。

- ・シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。
- ・上塗り工程は配り塗りからローラー押さえ(拭き取り)まで連続的に作業してください。塗膜が乾燥すると仕上がりが変わります。

完全にコテムラなくフラットに仕上げることはできません。

以 上